

日本での交換留学

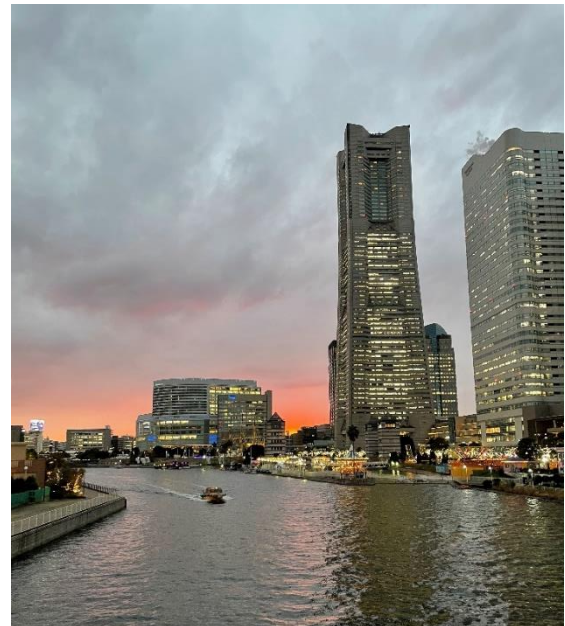
梨花女子大学校

イム・ハヨン

私は2020年の2学期に日本のお茶の水女子大学に交換留学生として来たイム・ハヨンと申します。私は1学期の間の交換留学生の経験を話しようと思います。

今学期はコロナで何もかも あやふやでした。時々刻々状況が変わり、それによって交換プログラムにも少しい変化がありました。前学期とは違い、受講申請や日本語テストなどが遅れて9月になりました。また、コロナの事態でビザの取得に制限があり、10月末にならないと受けることができませんでした。それで他の学期より遅く日本に入国することができました。

お茶大での授業もまた、ほとんどズーム(zoom)による非対面授業で行われました。そのため、お茶大学の学生たちと接することができなかつたし、学校の生活を体験する機会が少なかつたです。ですが、交換留学生だけが受ける留学生HRは、6人の少数の学生だったので、対面授業をして、他の交換留学生と交流ができました。新年に友達と寮近くの神社に行っておみくじなど日本の新年を経験したり東京近くにある横浜に行つて海を見たりしました。



面白かつた授業は日本語練習2Bでした。この授業は、一つのテーマでウェブサイトを作る授業で、一週間考えたテーマを友達に説明してフィードバックをする授業です。初めは日本語で説明して他

の友達のテーマを聞くことがすごく大変でしたが、授業が重なるほど日本語が上手になる感じがしました。

次に、日本での生活について話たいと思います。私は大山寮で生活をしました。駅も近く、池袋も近いので東京の色々なところに簡単に行くことができました。そして寮の近くにスーパーやお店が多くてとても便利でした。ただ、少し古い寮なので施設があまり良くはありませんでした。そして今回JASSOという奨学金を受けることができて、これで生活をしました。奨学金のおかげで日本での生活にもっと余裕ができました。

日本での留学生活では、コロナによって他の学生たちとあまり交流できなくてとても残念でした。しかし日本で授業を受けて他の交換留学生たちと過ごせる経験がとても良かったです。下の写真は新年に神社でたまたま見た舞台と友達と行った横浜です。